

【回答】

中央制御室では、津波襲来までの間で、監視パラメータは確認できており、原子炉は特に異常はなかった。またECCSも使用できる状態にあった。そのため、通常のスクリラム対応（手順書1の操作）により収束に持って行けると思っていた。

ICのB系も、特に異常はなかった。

HPCIは特に異常はなく待機状態にあり、原子炉水位が低下してきたときに起動させることとしていた。

1-⑦ 津波に関する情報（大津波警報の発令、到達予想時刻、予想高さ等）は把握していたか。把握した情報に対して何か対応を考えていたか。

【回答】

大津波警報が発令されたとの電話連絡を受けたことは覚えているが、到達予想時刻や予想高さは覚えていない。ただし、影響が出るような津波が来るとの認識はしていなかったと記憶している。

地震の揺れが収まった後、「大規模な地震が発生しました。津波がくる可能性があるので、屋外にいる方、作業員は全て退避して下さい」と何回かページングした。

1-⑧ 原子炉圧力の調整においてSRVの手動操作は行ったのか。

【回答】

中央制御室のパネルで「閉」緑ランプが点灯していることを確認しており、SRVの手動操作は行っていない。